

「周囲の人たちの反応は、いかがでしたか？」

「ところで……あなたにとつて総合科学とは、何ですか？」

練習の際、つまらない唄をうたわせて、変な踊りをさせやがってという、同期生からの冷たい視線を感じましたね（笑）。学祭では、唄や踊りがどうこうではなく、別の次元で（笑）盛り上がったというふうに記憶しています。

「大学時代の思い出は？」

舟橋喜恵先生のゼミでジョン・ロックを学んだことかな。思想に疎かつたから強化しなければならない（笑）という一心でしたが、不肖の弟子でした（笑）。最近になつて、はじめて思想の何たるかが解つたような気がします。

「最後に……総科音頭、総科節が、今後、どのようになることを望みますか？」

詠み人知らずの唄として、デカンショ節のように、ゆるゆると継がれていくてくれればいいと思います。まあ、継がれなくてもいいけど（笑）。ただCD化されるのだったら、いくらか欲しいな（笑）。

「総科音頭」「総科節」の作詞・作曲・振付者、角南憲一様よりご寄稿いただきました。

OBからの特別寄稿

「総科音頭」・「総科節」について

元祖・愛唱歌「総科節」「総科音頭」

角南憲一君（52社会）が作った「総科節」「総科音頭」のデビューは1977（昭和52年11月3～5日の大学祭だった。1年生だった52総科生127人の半数以上が市中パレードに繰り出し、この2曲を歌い踊りながら東千田のキャンパスから本通りまでを往復したのだ。学祭パレードに参加するのは文化・体育サークルばかりだったから、学部の新入生が鳴り物入りの大部隊で乗り込んだのは、とても目立った。

♪あ、そりや、にっぽんいちだよ、
そういうかがくぶう：

ぼくらは、練習を重ねた踊りでパレードしながら、総合科学部を紹介する手づくりチラシも市民に配った。この時、総科は創立の1974年春から3年半。52生の入学でやっと4学年そろったばかり。「バイオニア精神」に燃えるぼくらは、その存在を市民にアピールしたかったのだ。

52生は、学祭ではパレードのほか8ミリ映画製作・上映、喫茶も企画し、「3本柱」と称して大忙しだった。映画は「わたしや総科のイモねーちゃん」のタイトルで、これも角南君が脚本を書き、平和公園ロケなどもやって学長選挙をパロディで描いた。喫茶は学生研究室に開店し、手づくりケーキもあって好評だった。

かくして大学祭の3日間は大盛り上がりだった。打ち上げストームで総科節、総科音頭の合唱が何度も響いたのは言うまでもない。

もともと52生は、入学直後に自己紹介の手書き文を集めた学年名簿を作つたり、ミニコミ誌「いんてぐれいと」を月1回ペースで発行したりして、学部内コミュニケーションは活発化していた。そんな中で、大学祭の盛り上がりを機に「総科節」「総科音頭」は連帶のシンボル愛唱歌になつたのである。

（2010年1月11日記）

翌年、53生が「安芸の国」を作り、その後同窓会の会合では計3曲が歌い継がれることになるが、年々「安芸の国」が勢いを増して「総科音頭」「総科節」は影が薄くなってしまった。ただ、52生にとっては、メロディ、振り付けともオリジナルの「総科節」「総科音頭」こそ元祖・学部愛唱歌である。30年以上前の東千田キャンパスの光景をまぶたに重ねながら、心の中で密かにリバイバルを期するのである。

このたびは「飛翔」編集部が歌に注目してくれたことに感謝したい。

- ① 市中パレードから東千田キャンパスに帰着し、グランドでなお輪になって「総科節」「総科音頭」を歌い踊る52生（1977年11月）



- ② 52生の市中パレード。本通りからキャンパスへ向かう鷹野橋あたり。



- ③ 総科校舎裏庭で「総科節」「総科音頭」の振り付けを練習する52生。

（中央でリードしている白服が田中です）



「総科音頭」「総科節」の楽譜・振付資料作成に携わった、田中伸武様
(中国新聞浜田支局長)よりご寄稿いただきました。

資料1：歌詞

総科音頭



1. 斬つたはつたの刃情沙汰は
ここじやちつともありやせんが
ふつたふられた艶話
噂とぶとぶ総科の校舎
好きなら好きで ふられりやおわり
総科恋道 花咲く小径

2. 落つた通つた就職試験

三年、四年は血走るが
やつと入つた広島大
飲めや遊べの下級の学生
受験に合格 そりや時の運
総科鬼道は 受験の小径

1. 話の種に総科においでんさい
酒は飲め飲めやりまくれ
波は碎ける宇品の港
金山もほろ酔い気分じやそうわいな
日本一だよ 総合科学部
さあさ唄いな さあさ踊りな
チョイトまあ 総科節
2. ふさぎの虫なら総科で払いんさい
娘18花のよう
浮名流れる太田の川に
比治山もうかれてのつて騒ぎ出す
日本一だよ 総科のおなご
3. 金がないなら総科に入りんさい
カンパ集まるコンパある
みんなかたろうキープ券ある奴
日本一だよ 総科の気つ風
さあさ気にすな さあさノンビリ
チョイトまあ 総科節
4. 粋になりたきや総科に似んさい
おとこぎあふれる伊達男
潮の風吹く東千田町
総科の校舎もいなせな姿じやないか
日本一だよ 総科のおとこ
さあさ聽きなよ さあさ聽きなよ
チョイトまあ 総科節

總料音頭

さつたは下の じんじゅう ざたけ にじゅうかくとも ありやせんべ
よつたみらうて つやほせし うわきとくとみ とうかの うらしゃ
すきなま あきで ふらかわゆあわり そうか こひめち
はなをく こみち

總料節

はなれの たれに どうかにあへる さけはのみのめ べりまくれ
なみづくだける うじてねのみなど おうざん ざんそ
はるはいきぶんじや とれいは(アソウ) にいばんいちば そうじうかがくぶ
さあさうたいつ さあさおどりは ちあいとすあ そうやいふし

この楽譜は、田中伸武様（中国新聞浜田支局長）が、飛翔のために改めて書いてくださったものです。

資料3：振付

総科音頭



総科節



この振付図は、広島大学文書館に納められた資料に掲載されていたものを、編集委員が書き写したものです。